



## ～2023年度寄付・支援報告～

たくさんのご支援を  
ありがとうございました。



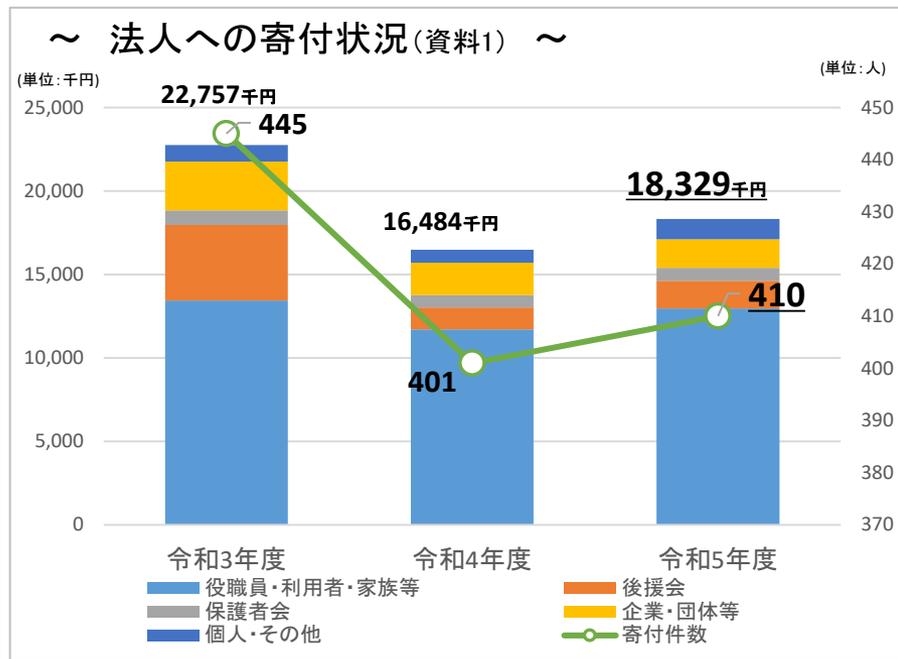
# ご寄付の報告

**2023年度 寄付総額 18,329,125円**  
**寄付件数 410名・団体**

社会的には脱コロナ・アフターコロナの色合いが強まるなか、インバウンド需要による景気回復が叫ばれてはいるものの、依然として長期化する物価高騰などの影響は大きく、なおかつコロナのみならず、季節性インフルエンザの流行などもあり、まだまだ厳しい生活を強いられている方も少なくないと推察いたします。世界に目を向けますと、ウクライナ戦争をはじめ、中東情勢も混んとしており、先の見えない不安や恐怖にたじろぐ人々があふれていることに心を痛めるばかりです。我が国においても正月の団らんを奪った能登半島地震は、私たちが経験した東日本大震災を想起させ、テレビ越しに燃え広がるあの光景には、絶望感すら覚えました。何より被害に遭われた人々には心からお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復興を心よりお祈りしております。

さて、そのような状況下にありながらも、皆さまから当法人にご支援をいただいたことには、大変有難く、只々頭が下がる思いでいっぱいです。

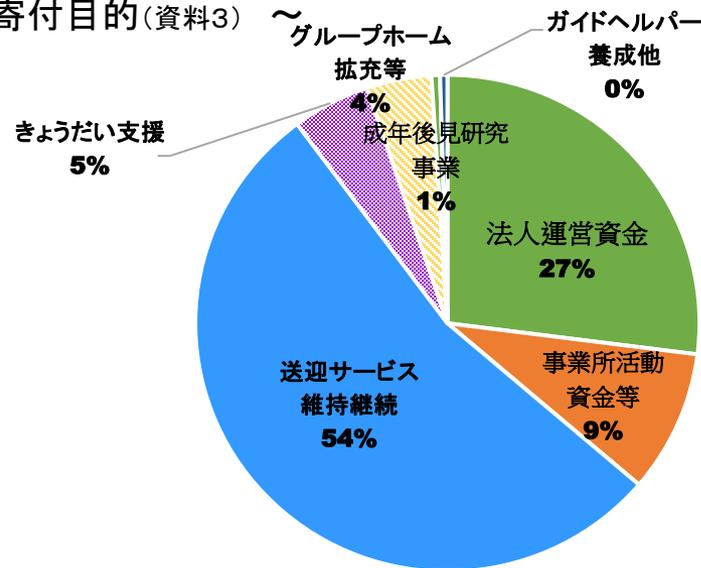
2023年度は、感染拡大以前の活動を取り戻そうと様々な活動に取組みました。多様な人材との繋がりを深め、顕在化する社会課題に向き合おうと新たな試みにもチャレンジして参りました。他方で、外出や宿泊を伴う事業などを中心に、利用実績も回復傾向にあります。依然として続くコロナの影響や利用者の高齢化・重度化による通所事業所の利用率低下などもあって、結果赤字脱却には至りませんでした。しょうがいのある人の意思決定に寄り添い、その人らしい豊かな生活を送ることのできる社会を構築するためにも、経営基盤の強化は欠かせません。引き続き、皆さまのお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。



## ～ 寄付者の属性別 受領額の推移(資料2) ～

年度	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	前年度比	
	寄付金額(単位:円)	22,757,074	16,483,657	18,329,125	11.2%
(内訳)	保護者会	884,363	896,080	764,500	△ 14.7%
	利用者・家族	12,995,219	11,041,988	12,349,629	11.8%
	役員・職員	433,277	514,050	566,100	10.1%
	元法人関係者	0	0	46,000	— %
	後援会	4,529,891	1,299,000	1,660,479	27.8%
	企業・団体	2,910,824	1,945,153	1,728,417	△ 11.1%
	他社福法人・NPO等	20,000	0	20,000	— %
	個人・その他	983,500	787,386	1,194,000	51.6%

## ～ 寄付目的(資料3) ～



# 2023年度 法人の財務状況・決算概要

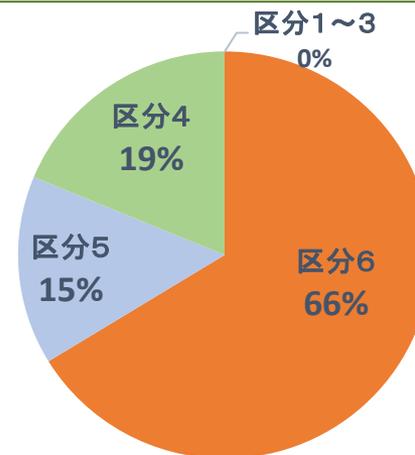
## 《収入の部》

勘定科目	決算額 (千円)	構成比 (%)	備考
給付費収入	696,331	76.6%	障害福祉サービス事業等
補助事業等収入	146,813	16.2%	市重度加算、市事業受託
利用料・年会費収入	30,447	3.4%	
その他事業収入	4,178	0.5%	介護初任研、作業品売上、等
施設整備等補助金収入	3,213	0.4%	グループホーム改修、物価高騰対策
寄付金収入	18,329	2.0%	
積立金取崩収入	2,135	0.2%	建物・備品等老朽化対応のみ計上
借入金収入	0	—%	※新規借入なし
その他の収入	6,724	0.7%	職員等給食費負担分等
収入合計	908,170	—	

## 《支出の部》

勘定科目	決算額 (千円)	構成比 (%)	備考
人件費	756,229	80.4%	最賃改定、処遇改善など
事務費	82,741	8.8%	消耗品、修繕などコスト節減
事業費	55,499	5.9%	
固定資産取得費	7,739	0.8%	ICT機器、エアコン設備等
借入金元金・利息償還	11,878	1.3%	福祉医療機構、七十七BK
積立金積立	16,615	1.8%	寄付金(一部)、GH家賃ほか
雑損失・その他支出	10,136	1.0%	消費税(H30~R4年度分)
支出合計	940,837	—	
収支差額	△32,667	—	※運転資金過不足額

## 日中活動を利用する方の支援区分



## 【参考】日中施設(生活介護)

- 利用者の平均障害支援区分: 5.5
- 利用実人員: 160名(5事業所計)
- 平均利用率: 83.8%(前年度から3.4%減)

## ○ 通所事業所における利用者数・率の変化

(コロナ禍以前との比較)

R5(2023)年度		H30(2018)年度		差異(R5-H30)	
1日あたり利用者数	利用率	1日あたり利用者数	利用率	1日あたり利用者数	利用率
119.11名	83.8%	124.53名	88.9%	△ 5.42名	△ 5.1%

※上記は、仙台つどいの家、コペル、アプリ、八木山つどいの家、若林障害者福祉センター5拠点の合算です。

(注) 運営状況をわかりやすく表すため、積立金取崩しによる運営費補填分を除いております。



# きょうだい支援プロジェクト



一昨年度より総務部が中心となり諸準備を重ねてまいりましたが、令和5年度はワークショップ(勉強会)を毎月開催し、県内の各大学、町内会等に出向いてのパートナー(協働ボランティア)募集や研修会への参加、各種チラシ配り等、広報活動を行なってまいりました。そして令和6年2月にはパートナーさん同士の初顔合わせとなるキックオフミーティングを開催し、当日は学生さん、民生委員さん、町内会長さん等15名の方々にご参加いただき、今後の活動の確認や座談会を行ないました。同年4月には初のきょうだい会イベントを開催し、大きな1歩を踏み出すことができました。

今後は継続してニーズの掘り起こしやパートナーづくりを行ないながら、毎月のきょうだい会や事務局定例会、隔月のパートナー定例会、さらには親子イベントや視察研修、パートナー勉強会行う予定です。

**ご寄付総額 916,982円**

(企業団体6件 利用者・家族・職員4件 個人32名)

いただいた寄付金のうち、令和5年度につきましては、83,952円をパートナー募集チラシ、寄付募集チラシ、学生パートナー交通費、プロジェクト説明資料作成費、ミーティング資料用紙代などに使わせていただきました。繰り越し分は令和6年度に使わせていただきます。

同事建設様  
寄付金贈呈式



**助成金 50,000円**

**さわやか福祉財団**

**地域助け合い基金助成金**

イベントチラシ、パンフレット作成及び、ホームページ開設に使わせていただきました。

**チラシ等設置配布協力**

近隣店舗・医院・団体、町内会、  
行政・福祉関係機関、教育関係機関等55件



**パートナー(協働ボランティア)**

学生4名 地域の方5名 関係機関の方々など14名



# 後援会・保護者会等からのご寄付

つどいの家後援会様および各つどいの家保護者会様からの寄付金については、主に法人が様々な社会課題やニーズに応えるための資源もしくは事業創設のための資金として積立てて参りました。これらには、グループホームの創設(施設整備や専任スタッフの確保・養成、事業開始以降の運転資金を想定)や地域生活支援事業の拡充など多岐にわたっています。

	後援会	つどいの家 連合保護者会	各通所事業所 保護者会・保護者	(単位:円)		
				うち 本部寄付	うち 送迎寄付金	その他
令和4年度	1,299,000	600,000	11,338,068	2,844,000	9,066,900	1,336,168
令和5年度	1,660,479	600,000	12,514,129	1,747,000	9,818,800	948,329



## 《送迎寄付金について》

	障がい福祉サービス費報酬に おける「送迎加算」	送迎サービス維持継続のため の寄付	送迎サービスに必要なコスト
仙台つどいの家	4,783,536	2,304,200	8,434,114
つどいの家・コペル	5,577,743	2,730,000	10,960,707
つどいの家・アプリ	4,164,125	3,686,600	7,992,332
八木山つどいの家	348,121	1,098,000	3,231,733
合計	A : 14,873,525	B : 9,818,800	C : 34,591,527

送迎サービスは通所事業所にとっては欠かせないサービスです。利用者、保護者の高齢化が進むにつれ、送迎のニーズは高くなっていきます。

サービスを維持・継続する為には、給付費の「送迎加算」だけでは足りないため、皆さまのご寄付を使わせていただいています。

A : 障害福祉サービス費報酬  
における「送迎加算」



B : 送迎サービスを維持継続  
するためにいただいた寄付



※不足分(C-(A+B))は法人資金で補填

C: 送迎サービスに必要なコスト

- ・送迎車の運転手、添乗員の人件費
- ・車両の車検、点検費
- ・タイヤ購入など消耗品の購入費
- ・その他車両メンテナンス費
- ・ガソリン代
- ・駐車場賃借料(一部事業所)
- ・車両減価償却費
- ・車両リース費 等

# 企業・民間助成団体等からのご支援



【今年もイオンサンタがやってきた】  
イオンスーパーセンター鉤取店から、サンタさん・トナカイさんがたくさんのプレゼントを持ってきてくれました。利用者おひとりおひとりにサンタさんからプレゼントを手渡されて、みんな大喜び。たくさんのクリスマスプレゼントをどうもありがとうございます。やまかぜ249号

【ミニストップ仙台長嶺店】様より。恵方巻とロールケーキをいただきました。やまかぜ250号

## 【みずほ福祉助成財団】

みずほ福祉助成財団様より助成を受け2年に渡り、「重度障がい者の成年後見制度利用促進のための環境整備に関する研究」としてチームで取り組みました。アンケートの実施、研修会を3回実施し報告書にまとめました。



研究プロジェクト報告書

## 【さわやか福祉財団】の地域助け合い基金

共生社会を推進するための助成として、地域で暮らす人同士の助け合い活動(つながりづくりを目的とした居場所や地域活動を含みます)を対象とした助成をいただき、きょうだい支援の広報を行いました。

「きょうだい」のみなさんへ  
～みんなでたのしみよう～

小学生のみなさん  
11月10日(水)10:30-12:00  
会場: 鶴岡市福祉センター(ホムカ学館)

中学生のみなさん  
11月10日(水)10:30-12:00  
会場: 鶴岡市福祉センター(ホムカ学館)

お問い合わせ: 010-2781-1871

1 きょうだいは? 不安、恐怖、誤解、嫉妬、怒り、嫉妬、プレッシャー、寂しさ、孤独感、自己肯定感の低下など

2 きょうだいが好きや嫌いを持つ 自分自身も「きょうだい」として扱われる

3 きょうだいのためにできること

本プロジェクトのコンセプトとビジョン

1 きょうだいによる自分らしさの発見  
2 地域協働とエンパワメント  
3 多様性の尊重と暮らしの安心

# いただいたご寄付の主な使い道

## イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン

### つどいの家・アプリ



画材を購入しました。  
アートサークル「北斎」で染物を創作しました

### 仙台つどいの家



啓発活動のための通信用の用紙をいただいています。たくさんの方に身近に感じていただけるように地域の方々へお届けしています。



### 八木山つどいの家



雨天送迎時に使用する傘、虫よけグッズ、画用紙・水彩絵の具を購入しました。

### つどいの家・コベル



健康管理や感染予防のため、衛生用品・医療品を購入しました。ありがとうございました。



【一般社団法人仙台建設業協会】様よりご寄付をいただきました。

デジタルカメラを購入しました。利用者さんが、気になった四季折々の風景を撮る写真クラブの活動で、大活躍中です。ありがとうございました。八木山つどいの家



【一般社団法人仙台建設業協会】様よりご寄付をいただきました。

すてっぷ・はうす利用者に大人気のCD、DVDをたくさん購入しました。また、利用者さんの体調管理に役立つ、パルスオキシメーターを購入しました。今後さらに楽しく、安全に過ごすことができます。ありがとうございます。びぽっと南光台

ガイドヘルパー育成 のためのご寄付をいただき、4回の講座を開催、32名の学生が受講し、14名のガイドヘルパーを育成しました。

# さまざまなご支援・ご協力をいただきました

## 「アルファス計装」様

5月3日、アルファス計装様より頂いたチケットで、東北楽天ゴールデンイーグルス対千葉ロッテマリーンズの試合を観戦させていただきました。(コベル通信109号)



## 「楽天ゴールデンイーグルス」様

東北楽天ゴールデンイーグルス様より「ドリームシート」のご招待をいただき、八木山メンバーズ3名で楽天イーグルス対日本ハムファイターズの試合を観戦してきました。(やまかぜ247号)



「日本保健福祉ネイリスト協会・名取校」の福祉ネイリストさんにご協力をいただき、手ピカクラブを行っています。(アプリ)

## 「花笠ほーぷ隊」様

6月7日午後、「仙台つどいの家内部研修」で、山形県天童市で活動をしている、「知的・発達障がい理解啓発キャラバン隊」【花笠ほーぷ隊】の方々いらしていただき、『知的・発達障がい疑似体験出前講座』を行いました。(とんがらし通信264号)



見学・視察研修などでお世話になりました。  
NPO法人 み・らいず2  
社会福祉法人 訪問の家  
生活介護事業所 朋・集  
社会福祉法人武蔵野 デイセンター山びこ

## 「瀧澤さんの音楽会」

月に一度の“瀧澤さんの音楽会”。生の音楽に触れることができる貴重な機会となっています。(やまかぜ248号)



# 新型コロナ感染5類移行後のイベント開催

新型コロナウイルス感染拡大の約4年間、様々なイベントを開催できず、つどいの家が大切にしている、地域の皆様との関わりの機会も少なくなっていました。昨年度コロナ5類移行もあり、少しでも以前のように地域の皆様と交流ができるよう、イベントを開催しました。

## 八木山つどいの家バザー

4年ぶりに規模を縮小して開催。地域の方々がたくさん来てくれました。



## 仙台つどいの家 つどいマルシェ



近隣店舗の出張販売、ミニバザー、野菜の販売、キッチンカーの出店もありました。

## 仙台つどいの家 音楽会



SMG(せんだい・ママ・ゴスペル)

## 仙台つどいの家 アマビエ展



## 仙台つどいの家 親子クッキング



## 仙台つどいの家 夏まつり



4年ぶりの開催。地域の皆さんも楽しみにしてくれていたようで、暑い中、たくさんの方にご来場いただきました。大学・高校生のボランティア30名にご協力いただきました。

## 社会福祉法人つどいの家・つどいの家後援会共催上映会開催



ドキュメンタリー映画「みんなの学校」を上映。生憎のお天気のなか、たくさんの方にご来場いただきました。

## 仙台つどいの家 すてーじ

せんだいメディアテークで行いました。第1部はだれもがともに小平ネットワーク理事、本庄一聖氏の講演。第2部で、利用者さんの映像発表、すてーじを上映しました。



# 出会い・交流～あれこれ～

## 尚綱学院大学の皆さんとの交流

I【畑作業】  
名取市の尚綱学院大学で畑作業をしました。それから、茄子とピーマンを植えました。今度は、学食に行きたいです。(やまかぜのベンチ246号)



II【運動会】  
学生さんと八木山つどいの家の混合チームになって『はじめまして』の挨拶から始まり、玉入れは引き分け、モップリレーは村度あつての引き分け、最後は両チーム今までよりもさらに本気の綱引きとなり、勝敗が決まりました。お互いのチームが『ONE TEAM』となった、あっという間の1時間でした。(やまかぜ248号)

## 「とり+かえっこ」



使わなくなったおもちゃ同士をとりかえっこして、新たに命が吹き込まれました。

## 山田ふれあいまつりへ参加

山田市民センターで行われました。当日は少し肌寒い日でしたが、会場は大盛況でした。



## イオン仙台幸町さんと交流イベント

イオンの進入社員さんと豆まきをしました。



## ちょこ・活 (学生対象のちょこっとボランティア)



学生と清掃活動・交流会をしたり学生・利用者さんとイベントに参加しました。

# つどいの家は税額控除対象法人として仙台市より認定されています。

※2021年(令和3年)12月28日ご寄付分より対象

法人へのご寄付は、寄付金控除として「税額控除」か「所得控除」のどちらかを選択いただけます。

## 税額控除 (寄付金合計額\*<sup>1</sup> - 2,000) × 40% = 税額控除額\*<sup>2</sup>

個人住民税控除\*<sup>3</sup> (年間寄付金額 - 2,000円) × 最大10%

- \*1 年間所得金額の40%に相当する額が限度額となります
- \*2 控除額は、所得税額の25%が限度となります
- \*3 各自治体により異なります。年間寄付額は、年間の総所得の30%が限度となります

## 所得控除 (寄付金合計額 - 2,000円) × 所得税率 = 所得控除額

年間寄付金合計額は年間所得金額の40%に相当する額が限度額となります  
所得税率は年間の所得金額によって異なります。

例えば、50,000円のご寄付で



寄付者にとってのメリット  
税額控除により最大約**50%**の減税！

例えば、50,000円のご寄付で



法人の寄付も税制優遇になります